令和7年度　江戸川区立南葛西第二中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	国際社会に貢献できる人間の育成を目指して　・人権を重んじ自他を敬愛する（礼儀） ・自主自律の習慣を身に付け将来を目指して自己実現を図る（自律） ・心身を鍛え、個性の発揚を図る（自律） ・所属社会の向上と環境改善を目指して着実に努力する（開拓）			目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	（生徒も、保護者も、地域も、教職員も）互いを大切にし、自他（そして社会）の目標達成のために、ともに高めあえる学校 心豊かで思いやりのある、国際社会に貢献し、自律・礼譲・開拓の精神をもって活躍できる生徒 働き方改革を意識する教職員　生徒に範を示すことを意識する教職員
前年度までの本校の現状	成果	○落ち着いた学習環境を整備・維持するとともに、機に応じて生徒の主体的な活動場面を企画運営することができている。 ○いじめや問題行動等の未然防止・早期発見・早期解決に寄与する組織的な指導体制が推進できている。 ○特別支援教育への共通理解のもとに、個々の生徒の困り感に応じた個別指導が円滑に実施することができている。		課題	○生徒の学習活動に取り組む姿勢は一定程度整っているが、各種学力調査におけるC層・D層にあたる生徒の割合が引き続き区平均を上回っていること。 ○やむを得ず登校できない生徒の割合が10％を超えており、中長期化を防ぐため、個々の学習支援に加え、関係機関との連携体制を一層整備すること。 ○江戸川区教育課題実践推進校として「魅力ある学校づくり」をテーマとした研究に取り組んでいるが、9学級以上が安定して維持できるまでにはなっていないこと。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	◎「誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」の実効性を高めるために・・・ ○全授業での「目標・めあて」の明確化を行う。	・学力調査におけるC層＋D層の生徒の割合50%以下。 ・学習意欲に関する項目の肯定的意見が都平均を上回る。											
		学習機会の確保・充実 ○放課後補習教室「EDOスク」参加率 ○定期考査前質問教室等の補習機会：年間延べ60回	・週定員36名の充足率90%、出席率80%以上 ・質問教室・補習授業等参加者：1生徒平均3回以上の参加											
	○読書科の更なる充実	◎調べ学習・探究的な学習等を通じた自ら学ぶ機会の充実 ○タブレット端末の利用促進：総合・読書科での利活用推進 ○学校図書館の利用生徒増	・タブレット端末を活用した生徒成果物制作年間2点以上 ・生徒一人あたり貸し出し冊数：前年比10%増											
体力の向上	○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	◎個々の体力と健康を定着するため、保健体育科での補強運動を毎時間実施する。	・補強運動の各授業での実施により、体力調査において都平均との全項目の差を-5ポイントを下回らないものとする											
		○身体を動かし、運動を愛好する習慣を育むため、休み時間等に場の設定を行う。	・生徒アンケート等におけるスポーツへの意識関心に関する項目の肯定的評価80%以上											
		○運動部活動による生徒の満足度向上 生涯にわたるスポーツへの興味関心を意識させる	・運動部活動所属者におけるスポーツへの肯定的評価80%以上 ・運動部活動のうち外部指導員の確保5名以上											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○ユニバーサルデザイン等の視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	◎生徒自らが広く共生社会の実現を目指す力を育むため、校内委員会等の機能強化を図る。	・アンケートにおける共生社会の実現に関する設問の肯定的評価80%以上											
	○エンカレッジルーム等の活用促進	○心を落ち着け、学習活動に向き合える場の設定を行い、別室指導の充実を図る。	・別室指導の実施による集団行動への復帰生徒を対象生徒の80%以上とする ・別室指導支援員を大学との連携で確保する											
	○副籍交流、交流及び共同学習の実施充実	○副籍交流等における交流の充実と連携の深化に加え、生徒がその価値に気づく取組を実現する。	・副籍生徒の交流（直接・間接）を学期1回以上実施 ・副籍生徒が来校時に、本校生徒と交流する場を設ける											
不登校・いじめ対応の充実	○豊かな心の育成	◎生徒がよりよく生きていくための様々なスキルや思考力・判断力を身に付けるための指導助言を充実させるため、以下の取組等を実施する。 ○幅広く生徒の情報を共通理解するための校内委員会 ○不登校対策コーディネーター・不登校対応巡回教員との連携強化 ○教育相談機能の強化	・いじめ継続件数…0 ・登校できない生徒数…前年比50%減 ・SNSに起因するトラブルの未解決数…0											
	○hyper-QUの活用等		・アンケートにおける学級集団に関する設問の肯定的評価80%以上											
	○教育相談の強化		・SC、SSW、巡回教員等とのつながりを育むしない不登校傾向生徒ゼロ											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校ホームページの充実等による広報活動の推進	◎生徒に・保護者に・地域に・教職員に魅力ある学校づくりのため、本校の実態を積極的に発信。	・保護者による学校評価アンケート：肯定的評価80%以上											
		○ホームページ等による情報発信を充実する。	・ホームページの更新を週3回以上実施し、学校の取組の広報に努める。											
	○学校関係者評価の充実	○授業参観機会の提供・保護者による学校評価アンケートの実施・学校評議員会の充実	・保護者アンケート回答率70%以上、その肯定的回答80%以上											
特色ある教育の展開	○働き方改革の推進	・ライフワークバランスの推進を通じて、定時外在校等時間を縮減できる業務の精選を行う。	・定時外在校時間80時間以上を3か月連続する教員0名											
	○江戸川区教育課題実践推進校としての研究推進 ○教員研修の実施	・校内研修を「魅力ある学校づくり」「生徒の変容」を視点として実施する。	・生徒アンケート・保護者アンケート「魅力ある学校」との肯定的評価90%以上 ・研究発表会を開催、参加者100名以上。											
		・若手教員に対する「メンター」による、継続的なテーマを絞けた指導の実施。	・若手教員の指導力向上による、校内での研究授業実施数の20%増											